



展示と語りで伝える、生きる力～そして未来へ



東日本大震災後を力強く生きる

# Message From 3.11

子ども達の言葉の数々。



掲載写真：石巻ひがし保育園の園児の皆さん Photo / 福田沙織 (PhotoWin)

希望の響き

「子ども達からの

メッセージ」展

3月9日(木)～13日(月)

午前10時～午後7時30分(最終日午後4時閉場)

藤崎本館8階グリーンルーム

◆ 入場無料 ◆

主催 3.11を語りつぐ会

後援 河北新報社

協力 NPO KIDS NOW JAPAN

洞源院、社会福祉法人輝宝福祉会

別冊  
企画

朗読コンサート3月9日(木)・12日(日)開催  
朗読/渡辺祥子  
※裏面に詳細記載

同時開催

河北新報報道写真展

「未来へ笑顔の5歳」

2016年5月5日付河北新報朝刊「こどもの  
日写真特集」に掲載された写真(2011年生  
まれの子ども達)を展示します。  
(東北写真記者協会新聞部門協会賞受賞)

# FUJISAKI

藤崎百貨店

〒980-8652 仙台市青葉区一番町三丁目2の17  
☎022-261-5111  
<http://www.fujisaki.co.jp>

# 子ども達からのメッセージ。

## 展示 「生きる」

神田瑞季さん（女川町出身  
制作当時15歳）の絵



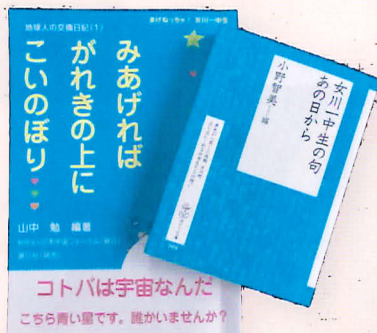
震災後まもなく描かれたこの絵は、女川町の復興絵葉書にも採用され、スペースシャトル搭載のDVDに収められるなど話題を呼びました。建物が流され、人々が犠牲になった町を見ている子ども達のまなざしの先には、どんな風景が広がっているのでしょうか。そして、今彼らは…。

瑞季さんは、現在大学3年生。

2016年3月、絵本「なみだはあふれるままに」（文・内田麟太郎絵・神田瑞季）を出版しました。

## 展示 女川一中生の句

震災後に行われた俳句の授業で生まれた句には、生徒たちの真つ直ぐな想いが込められています。  
※引用／「女川一中生の句あの日から」（ほとり文庫）  
「みあげればがれきの上にこいのぼり」（遊行社）



## 展示 洞源院避難所の子ども達の言葉

石巻市渡波の古寺「洞源院」は、東日本大震災時一時は400人を収容する避難所になりました。寺族の小野崎美紀さんは「当時25人いた子ども達の元気な声で、大人たちは救われたのです」と言います。そんな子どもたちの言葉を紹介します。



## 展示 石巻ひがし保育園 5歳児の絵

震災後に、地域の復興を願い建設された保育園の子ども達。多くの方々の支援と協力を受けながら、今日も元気いっぱい生活しています。



## 映像上映 「16歳の語り部」

震災当時東松島市立大曲小学校5年生だった、雁部那由多さん・津田穂乃果さん・相澤朱音さんは高校生になった今、震災の体験と教訓を伝える「語り部」の活動をしています。  
彼らのメッセージは、「16歳の語り部（ポプラ社）」に収められています。今回会場では、3人の活動の一端を映像で紹介します。



## 【特別企画】朗読コンサート

### 朗読：渡辺 祥子

1991年フリーアナウンサーとして独立し、仙台を拠点に幅広い分野で活躍。1998年より朗読家としての活動を開始し、活動の場を全国に広げると共に、「言葉の力・生きる力」をテーマとした講演や執筆にも取り組む。東日本大震災以降は、被災地で懸命に生きる人々の姿を積極的に発信。被災地と支援者を結ぶ活動を行い、2014年8月、「3.11からのことば～被災後を生きる人たちの言葉～」（TOボックス）を出版。



### ギター：佐藤正隆

3歳の頃よりギターを始め、2003年にソロリサイタルを開催し本格的に活動開始。2013年、国際交流基金主催「日本～チリ、はるかな友に心寄せて」プロジェクトにて音楽を担当し、チリのサンチャゴなど2都市で公演。これまで仙台を拠点に、数多くのソロ、アンサンブルのコンサートを開催。



### オープニングコンサート

3月9日(木) ★午前11時～ ★午後2時～  
ゲスト：佐藤敏郎<NPO KIDS NOW JAPAN 理事>  
震災当時、女川第一中学校（現在の女川中学校）に勤務。生徒たちの想いを五七五に込める俳句づくりの授業を行う。2015年から、震災当時小学生だった高校生が若者とディスカッションをする企画を各地で展開。NPOカタリバアドバイザー、小さな命の意味を考える会代表、女川エフエムパーソナリティーもつとめる。



佐藤敏郎さん

### メッセージコンサート

3月12日(日) ★午前11時～ ★午後2時～  
ゲスト：菊地里帆子<仙台中華高等学校2年生>  
震災当時、関上小学5年生。2011年7月に開催された東北六魂祭のフィナーレで、世界中の人々への感謝の思いを伝える作文を朗読したのをきっかけに、被災地からのメッセージを積極的に発信。2015年3月に仙台で開催された国連防災会議では、オープニング映像に出演。被災した子ども達の復興プロジェクトも行う。



菊地里帆子さん